

目標達成計画

作成日: 令和3年 2月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み。コロナ禍において会議の開催が困難な状況になっている	会議開催が出来ない場合において運営状況近況状況などを文書にし会議メンバーに配布するとともに返信方式にて交流を図る事とする。	運営推進会議のメンバーへ文書にて運営の報告を行うとともに返信方式にて意見交換を行っていく。	12ヶ月
2	35	火災時の避難訓練は年2回、昼間・夜間を想定したうえで行っているが、地震など自然災害時の避難方法を把握できていない所がある。地域の協力の確約がない。	火災や地震、水害等の自然災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を把握できるようにする。	火災時の避難訓練とは別に職員会議や勉強会で自然災害等あらゆる災害を想定して避難場所、避難方法について話し合い、共有するよう行う。又、地域の方に現在の入居者様の状況や施設の設備を説明し、火災や地震などの災害時にご協力を得れる様に交流を図る。	12ヶ月
3	49	日常的な外出支援 入居者様が、コロナ禍でもあり高齢で身体機能も下がってきていることで外出は専ら前庭における外気浴が殆どである。面会や外出制限で利用者のストレスがある。	ご利用者のストレスの軽減の為外出に代わる支援を行う	なるべく天気の良い日の外気浴は継続。体操レクなど企画しストレス軽減に努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。